

生涯学習推進基本指針進捗状況について

1 生涯学習推進の検証の実施手段

- ①基本指針に掲げた施策の推進に関し、市民の意見を把握する取り組みとして生涯学習市民センター利用者等に対するアンケートを実施することにより、満足度等を把握する。
- ②可能な限り定量的に示すこととし、枚方市における既存の評価制度(事務事業実績測定)を活用する。

2 「生涯学習施策」推進に関するアンケート

生涯学習市民センター、枚方公園青少年センターの利用者と、一部生涯学習事業の参加者を対象に「生涯学習施策」推進に関するアンケートを実施しました。

■アンケート回収結果

- (1)実施期間 令和4年5月1日～令和5年3月31日
- (2)回答数 455件(12月15日時点)

■アンケート結果(利用者満足度)

施 策	基本指針 でのNo.	満足度レベル			(参考) 令和 2年度	
		令和 4年度	令和 3年度	増減		
市民の学びを支える	(1)市民が自発的に学習できる機会の提供	1.(1)①	73.9	73.2	0.7	73.6
	(2)現代的・社会的課題に関する学習機会の充実	1.(1)②	66.3	66.4	-0.1	67.0
	(3)学習機会に対する情報提供の充実	1.(1)③	69.3	68.8	0.5	70.4
	(4)学びの場(場所)の提供	1.(2)	70.8	71.0	-0.2	69.0
学びの成果の活用を支える	(5)学びの成果を活用できる場の提供	2.(1)	68.3	67.4	0.9	67.0
	(6)学びの成果を活用できる仕組みづくり	2.(2)	63.6	62.7	0.9	63.8
つながりを支える	(7)学ぶもの同士のつながりを支える	3.(1)	63.2	61.9	1.3	64.3
	(8)市民・事業者・大学・地域のつながりを支える	3.(2)	63.1	63.3	0.2	63.3
	(9)世代間交流を支える	3.(3)	60.3	59.2	1.1	60.2
平均値		—	66.5	66.0	0.59	66.5

※基準値(50.0):全ての回答が「普通」の場合に得られる値

満足度は、全9施策で基準値*を上回っている状況で、昨年度に比べ、全体の平均では0.5ポイント増加となっています。増加率の高かった(5)、(6)については令和3年秋に開館した総合文化芸術センターで新たに開催されている市民総合文化祭や枚方市展など、市民の学びの成果を活用する機会が増えたことが要因と考えられます。また、(7)、(9)については、令和3年度までは、新型コロナウイルス感染症の影響により、施設の閉館やイベントの中止などが続いていましたが、令和4年度は施設の閉館もなく、一定の制限を設けながらではありますが、イベント等が開催され、市民の生涯学習の機会が提供できていることが要因であると考えられます。

生涯学習事業は多岐にわたることから、担当部署単独の取り組みの強化を実施するだけでは、施策推進を図ることはできないことから、今後も市内各部署がそれぞれの分野で生涯学習事業に積極的に取り組むことで、更なる生涯学習施策の推進を図ります。

【参考】利用者満足度の点数化の算出方法

全9施策に対する満足度を把握するため、「生涯学習施策」推進に関するアンケートの回答区分(満足、概ね満足、普通、やや不満、不満の5段階)の回答割合に基づき、最低0ポイントから最高100ポイントに点数化しました。

	アンケート結果の件数	各回答区分の点数
満足	a	4点
概ね満足	b	3点
普通	c	2点
やや不満	d	1点
不満	e	0点

[算出例]

1. 市民の学びを支える

■市民が自発的に学習できる機会の提供

満足	118件
概ね満足	195件
普通	96件
やや不満	16件
不満	3件

$$\frac{(118 \times 4) + (195 \times 3) + (96 \times 2) + (16 \times 1) + (3 \times 0)}{(118 + 195 + 96 + 16 + 3) \times 4} \times 100 = 73.9$$

※「アンケート結果の件数」に「回答区分ごとの点数」を乗じ、満足度のレベルを以下の計算式で算出

3 事務事業実績測定

事務事業実績測定結果(令和2年度・令和3年度)から、基本指針で掲げる生涯学習施策ごとに、関連する主な事務事業、その概要、実績等について、進捗状況として取りまとめました。